

環境影響評価および戦略的環境影響評価における 健康関連評価項目に関する事例検討

フジノ 藤野 善久* ヨシヒサ 二渡 了^{2*}
フタワタリ

大規模事業を実施する際に、環境の悪化を未然に防止し、持続可能な社会を構築することを目的に環境影響評価（EIA）を実施することが環境影響評価法により定められている。さらに最近では、計画段階での評価を含めた戦略的環境影響評価（SEA）を実施する自治体も出てきた。一方、近年、諸外国において、さまざまな政策分野において健康影響評価（HIA）と呼ばれる手法が積極的に活用されるようになってきた。このような背景の中、とくに環境分野の政策においては、EIA、SEA、およびHIAは手法、目的に共通する部分が多い。一方で、それぞれの基礎となる学問的背景の違いなどから、健康に関する評価項目は異なっている。とくに、HIAにおいては、社会的健康規定要因を基礎に採用しているのに対し、EIAおよびSEAでは健康関連の評価項目は限局的である。本項では、これらの背景を踏まえ、国内のEIAおよびSEAにおいて、健康関連の評価項目がどのように認識され、取り扱われるかについて事例の検討を行った。

Key words : 環境影響評価, 戦略的環境影響評価, 健康影響評価

* 産業医科大学医学部公衆衛生学教室

^{2*} 北九州市立大学大学院国際環境工学研究科
連絡先：〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1
産業医科大学公衆衛生学教室 藤野善久